

Park Hyatt Niseko Hanazono Hotel and Residences

Park Hyatt Niseko Hanazono Hotel and Residences

No. 21-023-2020作成

新築
ホテル

発注者	ハーモニー特定目的会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計	株式会社フジター級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
監理	株式会社日建設計	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		
施工	株式会社北海道日建設計					
	フジタ・岩田地崎特定建設工事共同企業体					

羊蹄山を望むスキー場に併設されたリゾートホテル

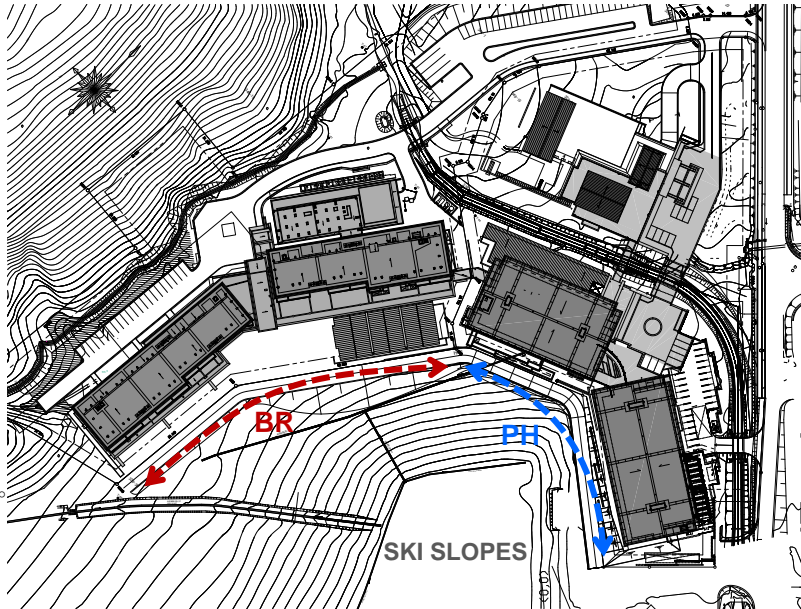
稜線に沿う分棟配置計画

本計画は、北海道虻田郡倶知安町にあるスキー場に併設されたリゾートホテルである。

建物は、ホテル棟(PH)とコンドミニアムのレジデンス棟(BR)で構成されている。等高線に沿った配置計画とすることで、掘削軽減を図っている。また、建物を分棟配置し、棟毎の高さを稜線にあわせて抑えることで景観への配慮をおこなっている。

ゲレンデを囲むような建物配置により、ゲレンデへのスキーインアウト、客室から名峰：羊蹄山への眺望獲得を実現している。

外装は、ライトグレー・ウッドカラー・ブラックを基調としたカラースキームにより周辺環境との調和を図った。また、水平・垂直を強調したデザインにより視覚的な分節をつくりだすことで建物ボリュームの軽減を行った。



建物配置図



ゲレンデ側からの外観：左側2棟がレジデンス棟、右側2棟がホテル棟

緑地計画

敷地内は、建物の分棟配置を行うことで庭園空間を生み出し、既存・新規を併せた植栽計画により緑被率40%以上を実現している。

既存の自然風景と、追加したランドスケープとの調和を図り、四季の移ろいを豊かにすることを旨とした。

また、建物の各所に中庭を点在させ、外部空間を取り込んだ計画とした。



ホテル棟に併設するチャペル

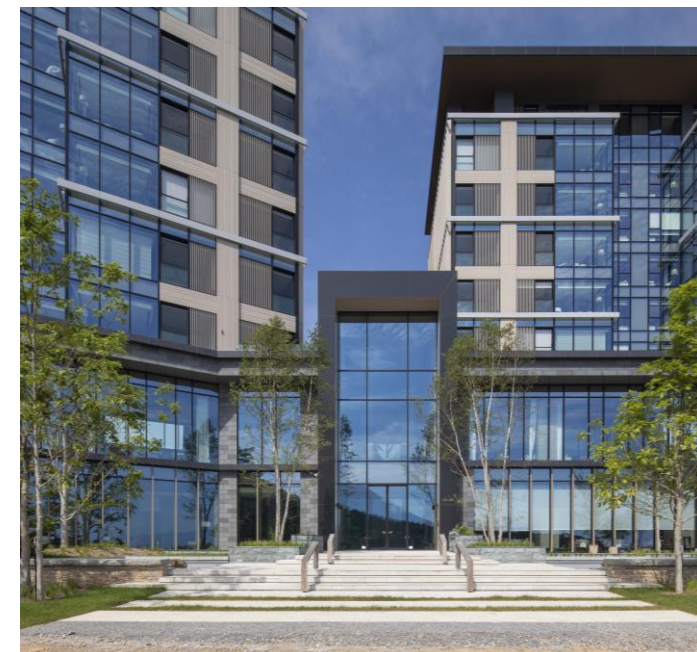
BCP対応

ホテル棟、レジデンス棟には有事の際に継続的な施設運営を行うための発電機を設置している。

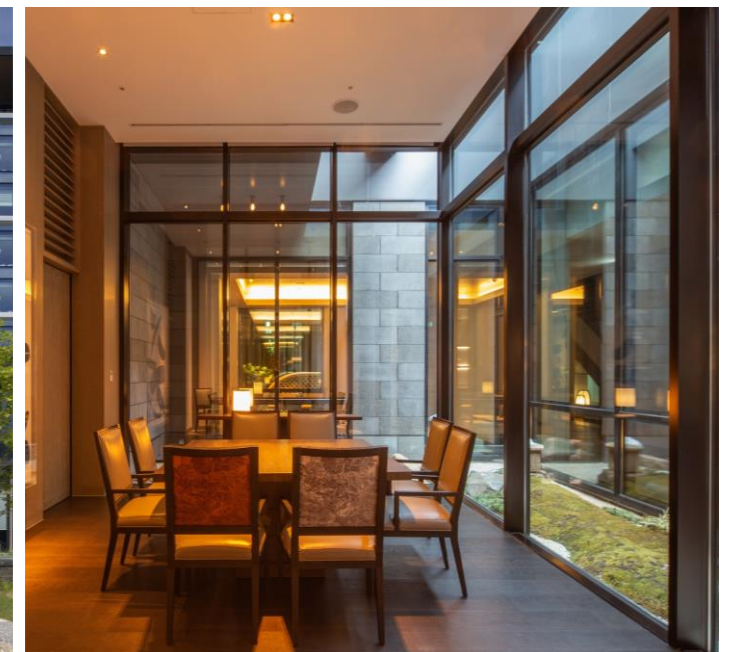
燃料を備蓄し、発電機2日程度、ボイラー5日程度の稼働が可能となる設定を行っている。



ホテル棟 ザ・バーよりゲレンデを望む



レジデンス棟 スキーインエントランス



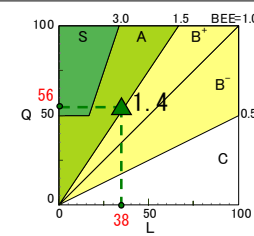
レジデンス棟 レストラン 個室と中庭

BAR STUDIO (PH + BR コンセプトデザイン)
株式会社日建設計 (チャペル コンセプトデザイン)
TAKANO LANDSCAPE PLANNING Co., Ltd. (ランドスケープデザイン)

建物データ	
所在地	北海道虻田郡倶知安町
竣工年	2019年
敷地面積	44,565㎡
延床面積	55,973㎡
構造	S造 一部RC造
階数	地下2階 地上8階、地上6階

省エネルギー性能	
【ホテル棟】	
BPI	0.79
BEI	0.80

CASBEE評価	
【ホテル棟】	
B+ランク	BEE=1.4
2010年度版	自己評価



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (BCP対応)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物配置や形態の自然との調和)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (Low-Eペアガラス)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (内装仕上材にエコマーク商品採用)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (融雪計画)